

I. チーム医療とは/チーム医療と各医療専門職の役割

【番号】		【講義内容】		
N-1 看	講義名	チーム医療における看護職の役割		
	目的	様々な医療現場におけるチーム医療と看護職が担っている役割について学びます。		
	概要	チーム医療とは、多種の医療専門職が連携し合って、治療や支援を行っていくことです。病院では、「栄養サポートチーム」や「緩和ケアチーム」など専門性に富んだチームが活躍しています。どのような活動をしているのか、具体例を挙げて紹介します。		
	担当	准教授 堀越 政孝 【専門】成人看護学	形式	講義
M-1 検	講義名	チーム医療概論ーチーム医療における各医療職の役割とはー		
	目的	チーム医療の中で活躍する様々な医療職の役割を学びましょう。		
	概要	医療は様々な医療職の連携によって支えられています。本講義は、チーム医療の中で各医療職がどのような役割を果たしているのかを学び、将来の進路選択に役立ててもらおう内容となっています。		
	担当	准教授 高橋 克典 【専門】病態免疫化学検査学	形式	講義
M-2 検	講義名	感染症（新型コロナウイルス感染症など）におけるチーム医療の重要性		
	目的	感染症の検査診断・治療におけるチーム医療の重要性についてわかりやすく解説します。		
	概要	新型コロナウイルス感染症を例にとり、特に感染症の検査診断と多職種連携の重要性についてわかりやすく概説します。		
	担当	教授 木村 博一 【専門】感染症学、微生物学、臨床検査学	形式	講義
R-1 放	講義名	医療専門職になるには（多職種連携とチーム医療）		
	目的	医療職の専門性とチーム医療連携について学びましょう。		
	概要	医療専門職を担う国家資格には、看護師、理学療法士、臨床検査技師、診療放射線技師、臨床工学技士など、様々な専門資格があり、近年、高度な専門性と医療情報連携によって、患者さんを中心としたチーム医療のなかで活躍しています。これらの国家資格の特長と違いについて、医療専門職が連携と共働で行うチーム医療、医療情報連携の観点から解説します。		
	担当	教授 星野 修平 【専門】放射線情報学、医療画像情報学	形式	講義
R-2 放	講義名	職業選びのポイントー医療職種を目指してー		
	目的	職業選択の手助けになります。		
	概要	「現在の医療」「医療技術者とは」「チーム医療」について学びましょう。		
	担当	教授 小川 清 【専門】放射線学	形式	講義
R-3 放	講義名	チーム医療と診療放射線技師の役割		
	目的	1. 病院内でのチーム医療の大切さを理解しましょう。 2. 診療放射線技師の仕事内容を学びましょう。		
	概要	チーム医療とはなんだろう？ 診療放射線技師はどんな役割を担っているの？ 実際の医療現場の様子をわかりやすくお伝えします。		
	担当	講師 谷口 杏奈 【専門】放射線学、放射線画像解析学	形式	講義
C-1 工	講義名	ヒューマンファクター科学の分析が医療の質と安全向上に役立つ		
	目的	チーム医療と臨床工学技士の役割について解説します。		
	概要	患者さんの病気に対し臨床工学技士はどういう手順で診断・治療を担当するのかについて分かりやすくお話しします。高度医療が進み、加速度的に医療機器の複雑化、新たな機器操作の役割増加の中、臨床工学技士に求められる新たな役割として、医療の質と安全管理向上が重要となることを理解していただきます。		
	担当	講師 草間 良昌 【専門】体外循環装置学	形式	講義
P-1 理	講義名	リハビリテーションはつらいものではありませんーリハビリテーションの誤解を解いてチーム医療をめざすー		
	目的	つらいリハビリを経て復活した…これはリハビリテーションのとても小さな側面で誤解の原因になっています。リハビリテーションとは心地良く未来をめざすもので、チーム医療で行われるものです。誤解を解いてリハビリテーションのチームワークに触れましょう。		
	概要	リハビリテーションは「より良い状態にする」というのが本来の姿であり、決して我慢するもので耐えるものでもありません。そのためには一人ひとりに合わせた「心地良い状態での体験を共有すること」がリハビリテーションです。リハビリテーションには受けた制限や制約に応じて、また人間の個性と生活にあわせて複数の専門職があります。一人ひとりの願いは多様なので、それに合わせるためにはリハビリテーションの専門職達がチームを組んで援助にあたる必要があります。それがチーム医療ですが、実践するにはいくつかの考え方が必要です。それは患者さん中心であること、それぞれの職種の内容を理解し尊重すること、忙しい中での正確なコミュニケーション、期間を決めて願いを実現することがあげられます。これらを実感できるように演習を交えてお話しいたします。		
	担当	学科長・教授 中 徹 【専門】小児理学療法	形式	講義、デモンストレーション

Ⅱ. 職業理解				
【番号】	【講義内容】			
K-1 教	講義名	医療専門職にはどのような職種があるか？		
	目的	医療に関する各種国家資格について知しましょう。		
	概要	すべての学科で講義を行っている経験から、また卒業生の経験談をしばしば聞く経験から、医療関係の国家資格、特に本学で養成している各職種の様子について詳しくお話しします。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
N-2 看	講義名	看護師になるための学校選び		
	目的	看護師になるための学校選択の目的・方法を理解しましょう。		
	概要	看護師になるには、様々な課程があります。課程の違いや、学校を選択するときに参考となる視点をわかりやすく説明します。		
	担当	講師 萩原 一美 【専門】基礎看護学	形式	講義
N-3 看	講義名	看護学生の生活って？		
	目的	看護学生の4年間を知ることで、看護学生生活のイメージをつくりましょう。		
	概要	看護学生生活は忙しく厳しいというのが一般的な常識だが、どこがどのように厳しいといわれる所以なのかを知ってもらうことで、看護師という職業に就こうとする者の職業観の形成を図ります。		
	担当	講師 萩原 一美 【専門】基礎看護学	形式	講義
N-4 看	講義名	手術室看護 ー手術室看護師の仕事って何？ー		
	目的	1. 手術室の環境、手術室看護師の役割について理解できる。 2. 手術室看護師の仕事内容について理解できる。		
	概要	手術を受ける患者さんを看護するのは病棟の看護師だけではありません。手術室にも看護師がいるのを知っていますか？手術室看護師はどのような環境で仕事をし、こういった役割があるのか、またどのような流れで1日の仕事が行われているのかを解説します。また手術を受ける患者さんの気持ちを一緒に考えてみましょう。		
	担当	講師 小池 菜穂子 【専門】成人看護学	形式	講義
N-5 看	講義名	看護って何？看護師になるためにどんな勉強をするの？		
	目的	1. 看護とは何か知ることができる。 2. 看護師になるためのプロセスを知ることができる。		
	概要	「看護とは」「看護師の活躍する場」「看護師になるための方法」「看護学生の学生生活」「どんな勉強をするのか」「看護学科を受験するにあたりやっておくと良いこと」を説明します。また、模擬授業を通して、実際の授業を体験しましょう。		
	担当	講師 金子 吉美 【専門】成人看護学	形式	講義、体験
N-6 看	講義名	看護師になってからのキャリア形成と認定制度		
	目的	看護師になってから、自らのキャリア形成を考えるきっかけをつくりましょう。		
	概要	医療の現場は日々進歩しています。その中で、看護職も社会からのニーズを受け生涯学習を必要とします。看護師・助産師・保健師となる道以外に、看護管理者・看護教員・認定看護師・専門看護師、特定行為の看護師など、看護師のキャリア形成を紹介します。		
	担当	講師 萩原 一美 【専門】基礎看護学	形式	講義
N-7 看	講義名	助産師の仕事 ー助産師になりたい！助産師になるにはどうしたらいいの？ー		
	目的	1. 助産師の仕事について知る 2. 助産師になるためのプロセスを知る 3. 大学での助産師課程の学習内容を知る		
	概要	「助産師とは」「助産師の活躍する場」「助産師になるための方法」「助産師学生の学生生活」「助産師学生はどんな勉強をするのか」「助産師になるために、今からやっておくと良いこと」を説明します。また、助産師課程の模擬授業を通して、実際の授業を体験しましょう。		
	担当	准教授 中島 久美子 【専門】母性看護学、助産学	形式	講義
N-8 看	講義名	保健師の仕事 ー保健師さんって知ってる？ー		
	目的	保健師活動の内容と場所及び進路選択の方法を学びましょう。		
	概要	保健師がどのような職業であるかを、活動内容と働く場から紹介し、希望する場合の進路について説明します。		
	担当	准教授 廣田 幸子 【専門】公衆衛生看護学	形式	講義
N-24 看	講義名	看護職の活躍する場は病院だけじゃない！こんなにも広がる活躍場面		
	目的	1. 看護師、保健師、助産師について 2. 看護職が活躍する場 3. 看護職になるための方法		
	概要	「看護」と聞くと、皆様がイメージするのは病院で働く「看護師」でしょうか。しかし、看護の仕事をする人は、「看護師」以外に「保健師」や「助産師」もいます。そして、看護職が活躍する場は病院だけではなく、皆様の身近なところでも活躍しています。看護職の活躍する場や看護職になるための方法について、ご紹介します。		
	担当	講師 桐生 育恵 【専門】公衆衛生看護学	形式	講義

M-3 検	講義名	検査データの謎解きで病態を明らかにしよう！		
	目的	病院で働く臨床検査技師の仕事や役割を理解し、検査データと病態との関連性やデータを判読する重要性を学びましょう。		
	概要	病む患者さんの血液や尿には未だ知られない病態や数多くの情報が秘められています。臨床検査で異常データの原因を解明するのは、まさに推理小説の“謎解き”をするようなものです。講義では、実際の患者さんの検査データを謎解きし病態を明らかにしていきます。		
	担当	学科長・教授 藤田 清貴 【専門】病態免疫化学検査学	形式	講義
M-4 検	講義名	臨床検査技師ってどんな職種？		
	目的	臨床検査技師の業務、役割について解説します。		
	概要	主に病院などの医療現場で働く臨床検査技師の業務について、血液や尿を使って、どのような方法でそれらが検査されるのか、また直接患者さんに接して検査する心電図検査や手術で摘出された臓器をどのようにして検査するのかを示して、臨床検査技師の業務内容を理解して頂きます。		
	担当	教授 亀子 光明 【専門】病態生化学	形式	講義
M-5 検	講義名	病理検査における臨床検査技師の役割		
	目的	病理検査の概要を理解し、標本の作製方法を学びましょう。		
	概要	がんを診断する方法にはMRI、CTなどの画像診断がありますが、最終的にがんと確定診断するためには、患者さんから摘出した組織材料による病理検査が必須です。病理検査に臨床検査技師がどのように関わっているか解説し、標本の作製方法についてわかりやすく説明します。		
	担当	講師 岡山 香里 【専門】病理学、病理検査学、細胞診断学	形式	講義
R-4 放	講義名	診療放射線技師ってどんな職種？		
	目的	診療放射線技師のお仕事について学びましょう。		
	概要	1. 診療放射線技師になるには、高校時代に何を勉強しておけばよいか。 2. 診療放射線技師のお仕事とは？ 3. 就職先は、どのようなところがあるのか。		
	担当	学科長・教授 土屋 仁 【専門】放射線学、医療安全学	形式	講義
R-5 放	講義名	診療放射線技師の役割とその教育について		
	目的	診療放射線技師の役割とその教育について学びましょう。		
	概要	放射線を人体に照射することのできる唯一の国家資格である診療放射線技師の役割とその専門性について解説します。また、診療放射線技師国家資格を取得するための、大学教育、大学院、専門職教育などについても言及します。		
	担当	教授 星野 修平 【専門】放射線情報学、医療画像情報学	形式	講義
R-6 放	講義名	診療放射線技師という職業		
	目的	診療放射線技師になるための学び、なつてからの仕事について理解を深めましょう。		
	概要	診療放射線技師に適している人はどんな人でしょうか。 大学で学ぶことや国家試験の内容とともに保健医療以外での役割について考えてみます。		
	担当	教授 倉石 政彦 【専門】放射線学、放射線治療技術学	形式	講義
R-7 放	講義名	原発事故で果たした診療放射線技師の役割		
	目的	福島原発事故において診療放射線技師は放射線の専門家として多くの役割を果たしました。その役割を紹介することで診療放射線技師の持つ知識や技術を学びましょう。		
	概要	放射線の専門家として診療放射線技師が行った放射能汚染の有無を確認するための検査の実施、TVやラジオでの放射線影響などについての解説および避難所のレイアウトのアドバイス等を紹介します。これらの講義の中で放射線の安全と非安全について学ぶとともに診療放射線技師の持つ知識と技術や社会貢献について学びます。		
	担当	教授 渡邊 浩 【専門】核医学、放射線防護	形式	講義
R-8 放	講義名	法律って私たちに関係あるの？		
	目的	日本は法治国家である以上、社会人として法律を知ることの大切さや社会人としての法律との係り方、ひいては診療放射線技師や医療従事者の仕事や役割を学ぶ機会とすることが目的です。		
	概要	まず、法律の仕組みや診療放射線技師が国家資格者としてどのような法律を遵守して仕事をしているかを講義します。次に、放射線が医療に有効かつ安全に利用できるように診療放射線技師や医師が法律や社会ルール作りにどのように貢献しているかを講義します。その後に社会人としてどのように法律に係っていくかを、身近な問題を取り上げて受講生同士で意見交換を行っていただきます。受講者はこの過程を経て法律とは何か、どのように係わるのか、あるいは係わるべきなのかを学んでいきます。また、この講義を通じて診療放射線技師や医療従事者の仕事の内容や役割も学ぶこともできます。		
	担当	教授 渡邊 浩 【専門】核医学、放射線防護	形式	前半：講義、後半：グループワーク

R-9 放	講義名	職業選びのポイントー診療放射線技師を目指してー		
	目的	職業選択の手助けになります。		
	概要	・私が診療放射線技師になったわけは ・診療放射線技師に向いている人はどのような人 ・どのような診療放射線技師が望まれているか ・できる診療放射線技師とは		
	担当	教授 小川 清 【専門】放射線学	形式	講義
R-10 放	講義名	診療放射線技師の温故知新		
	目的	診療放射線技師の発展途上度を探りましょう。		
	概要	現在では、画像情報をより見やすくて確かな診断イメージとして画像再構成する診療放射線技師の力に依存する事が増えてきています。そこで、医療機器の進歩と隣り合わせの診療放射線部門の最新情報についてお話いたします。		
	担当	准教授 小池 正行 【専門】放射線学、診療画像解析学	形式	講義
R-11 放	講義名	がん治療の中の放射線		
	目的	がん治療における放射線の役割を理解し、がんについて学びましょう。		
	概要	2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんで死ぬといわれています。がん治療の基本は手術、抗がん剤、放射線が主に用いられています。このがん治療3本柱の一つである放射線治療について解説し、そこで働くいろいろな職業についても紹介します。		
	担当	准教授 岩井 譜憲 【専門】放射線治療技術学	形式	講義
C-2 工	講義名	臨床医学と工学の融合は適正な医療と安全を患者さんに提供できるか		
	目的	医療機器が患者さんに対して適正に安全に使用され、患者さんの命が守られます。その概要について解説します。		
	概要	医療分野への工学の進出は今後の医療発展に必須であり、臨床工学とは、医療機器と言い換えることもできます。医療機器が医療現場で適正に安全に使用されることは重要です。新しい医療資格である臨床工学技士の業務を解説し、医療現場での臨床工学技士の必要性をお話しします。（高度先端医療施設では臨床工学技士の配置が義務付けられている：厚生労働省）		
	担当	学科長・教授 芝本 隆 【専門】生体医工学	形式	講義
C-3 工	講義名	命のエンジニアー臨床工学技士って何だろう？ー		
	目的	「臨床」と「工学」の知識を併せ持つ臨床工学技士の職業を解説します。		
	概要	臨床工学技士は現在の医療に不可欠な医療機器のスペシャリストであり、臨床工学の知識が活かされる事で医療機器運用の効率化と患者さんの安全性の確保に寄与しています。医療現場で活躍している臨床工学技士の職業について紹介させていただきます。		
	担当	准教授 吉岡 淳 【専門】医用機器安全工学、医用治療機器学	形式	講義
C-4 工	講義名	縁の下の力持ちー臨床工学技士の仕事ー		
	目的	臨床工学技士の仕事への理解を深めましょう。		
	概要	臨床工学技士がどのような場所で活躍し、どのような仕事や役割を果たしているのか、また臨床工学技士になる方法について解説します。		
	担当	講師 近土 真由美 【専門】生体機能代行技術学	形式	講義
C-5 工	講義名	診断・治療に必要な判断力は高校で学ぶ連続した知識が支える		
	目的	学習は「目的に向かいやり抜く力」を持つことで達成できることを解説します。		
	概要	4年間の座学で生体をいろんな角度（科目）から分析、解析します。履修科目間での関連性を構築して臨床実習で実践技術習得を行い、目的とする臨床工学技士像を完成させる過程を分かりやすくお話しします。やり抜く力とは、極めて長期にわたる目標に向けた情熱や持続力で、自らの将来にこだわることであり、その週だけとかその月だけではなく何年もの間一生懸命に取組み、その夢を実現することを解説します。		
	担当	講師 草間 良昌 【専門】体外循環装置学	形式	講義
P-2 理	講義名	ビリビリ・リハビリー絶望を希望に変える理学療法学技術の開発ー		
	目的	理学療法学は「治療医学でカバーできない人々の願いを叶えることを目指す技術を追求する」ということを理解しましょう。		
	概要	ある野球部の中学生がある日、突然倒れた。重い病に侵されていた彼の最後の望みを叶えるべく、若き理学療法士が挑戦したリハビリテーションの技術の応用とはビリビリ、電気刺激を用いることであった。果たしてこの挑戦はどうなったのか？実話に基づく物語風の講義、実際の技術のデモンストレーションを通して、リハビリテーション科学・理学療法学の現状を理解し、この分野に興味を持って、挑戦する若者に真の理学療法学技術の開発の姿を伝えます。		
	担当	教授 木村 朗 【専門】臨床身体活動学	形式	講義、デモンストレーション

P-3 理	講義名	理学療法士ってどんな職業？		
	目的	理学療法士という職業を理解しましょう。		
	概要	理学療法士とはどのような仕事をしているのか、どのような職場で働いているのか、どのような人が理学療法士に向いているのか、理学療法士になるためにはどのようにすればいいのか、など理学療法士について学びます。		
	担当	准教授 岡崎 大資 【専門】物理療法学	形式	講義
P-4 理	講義名	作業療法士ってどんな仕事？		
	目的	1. 作業療法を知り、作業とは何かを学びます。 2. 作業療法士がどのような仕事をしているのか、どんなところで働いているのかを知り、作業療法の将来性を理解します。		
	概要	作業療法は、「人々の健康と幸福を促進するため作業に焦点を当てた治療、指導、援助」であるとされています。作業療法の専門性は、作業を通して何かをすることにあります。さて、作業とは一体何でしょうか。作業療法士はいろんなところで活躍しています。その魅力ある働きを知っていただきたいです。		
	担当	教授 村田 和香 【専門】作業療法学、老年期作業療法学	形式	講義、体験

Ⅲ. 大学での学び

【番号】		【講義内容】		
K-2 教	講義名	医療職の英語表現		
	目的	医療分野における英語学習の必要性について知り、医療職として使う英語の特徴を、授業を通じて理解しましょう。		
	概要	医療の分野で使う英語表現をビデオやCDを通して学習し、その後ロールプレイをします。		
	担当	教授 杉田 雅子 【専門】英文学	形式	講義、グループワーク
K-3 教	講義名	解剖学的に靈魂を考える		
	目的	靈魂というものを解剖学的に考察し、科学的思考法を身に付けましょう。		
	概要	身近に起こった不思議な出来事を提示し、解剖学的に考察します。靈魂を見る、感じるということ、自分が死んで靈魂になった場合を想定し、それぞれを解剖学的に考えましょう。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
K-4 教	講義名	顕微鏡で見る人体の神秘		
	目的	光学顕微鏡でヒトの臓器・器官を観察するとどのように見えるか知ってもらいます。		
	概要	人の身体はたくさんの臓器・器官からできています。人体を構成する臓器の中からいくつかについて解説し、それぞれが光学顕微鏡で観察するとどのように見えるのか提示します。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
K-5 教	講義名	ヒトの表情ってどうやってできるの？		
	目的	表情というものがどのようなものか知りましょう。		
	概要	表情は顔面筋と呼ばれる筋群によって起こります。これら顔面筋について解説し、表情をつくるということが、実はストレッチなどが可能な運動であるということを知ってもらおうと思います。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
K-6 教	講義名	簡単に覗ける内臓・・・口の中		
	目的	口の中は簡単に覗ける内臓であるということを理解しましょう。		
	概要	口の中には歯、舌、唾液腺、扁桃などさまざまな器官があります。これらの特徴・構造や簡単な観察方法について解説し、口の中の健康に興味を持ってもらいたいと思います。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
K-7 教	講義名	心理学入門 ―高校時代に乗り越えるべき課題について―		
	目的	高校生（青年期）に特有の発達課題について知り、自らの課題について検討し、高校卒業後どのような進路を目指したいか考えましょう。		
	概要	エリクソンの発達理論を紹介し、その中でも受講者の年代である青年期について焦点を当てます。青年期の発達課題である「アイデンティティの確立（自分とは何者か、将来何になりたいか）」VS「同一性の拡散（自分が何者かわからなくなったり、これからどうしたらいいかがわからなくなったりする状態）」について触れ、自らの発達課題について検討しましょう。		
	担当	准教授 榎本 光邦 【専門】教養科目	形式	講義、演習
K-8 教	講義名	わたしたちのくらしを支える神経		
	目的	脳内には神経が作り出す様々な回路があり、我々の生活はその回路により成り立っていることを理解しましょう。		
	概要	まず、神経細胞の構造について概説し、神経細胞で発生する活動電位発生機序、神経細胞同士の連絡(シナプス)について話します。また、感覚神経である求心性神経と運動神経である遠心性神経、それらが作り出す反射弓、さらに脊髄以上のレベルである大脳基底核や海馬における記憶の回路など、高次の神経回路について講義します。		
	担当	講師 洞口 貴弘 【専門】認知神経科学	形式	講義
K-9 教	講義名	事例で学ぶ生命倫理 ―出生前診断―		
	目的	「いのち」とは何か、倫理的思考とは何か。「出生前診断」という事例を通して考えましょう。		
	概要	「出生前診断」という言葉を聞いたことはあるでしょうか？妊娠中にこの診断を受けた場合、胎児の異常が生まれてくる前にわかる場合があります。この技術の倫理的課題について講義し、「受けること」「受けたあとのこと」についてみなさんと議論したいと考えています。		
	担当	講師 吉田 幸恵 【専門】生命倫理、社会学	形式	講義、グループワーク
K-10 教	講義名	事例で学ぶ生命倫理 ―安楽死・尊厳死―		
	目的	「いのち」とは何か、倫理的思考とは何か。「安楽死・尊厳死」という事例を通して考えましょう。		
	概要	自分の「死」についてわたしたちは「自分で決める」ことができるでしょうか。「自己決定」と「安楽死・尊厳死」の関係性、そして倫理的課題について講義し、みなさんと安楽な死、尊厳ある死について議論したいと考えています。		
	担当	講師 吉田 幸恵 【専門】生命倫理、社会学	形式	講義、グループワーク

K-11 教	講義名	英語でのプレゼンテーションスキルを磨きましょう！		
	目的	英語で効果的なプレゼンテーションを行うために、必要なスキルを学びましょう。		
	概要	英語でプレゼンを行わなければならない際は、どうすればいいでしょうか。ここでは、決まり文句などの表現から仕草などのボディランゲージまで、必要なスキルを網羅します。		
	担当	講師 アンドリュース・デビッド 【専門】英語全般、翻訳・通訳	形式	講義、体験、グループワーク
N-9 看	講義名	10代の性の話		
	目的	高校生の性に関する悩みに答える正確な情報を提供します。		
	概要	月経、妊娠、避妊、性感染症などに関することは、高校生にとって身近で重大な悩みの種です。これらのことに対して正しい知識を持ち、かけがえのない10代の時期を充実したものにしましょう。		
	担当	学科長・教授 矢島 正榮 【専門】公衆衛生看護学	形式	講義
N-10 看	講義名	母乳育児に関する学び入門		
	目的	母乳育児（乳汁分泌機序、母子の愛着形成・栄養・経済的側面などでのメリット・問題点など）について理解しましょう。		
	概要	皆さんは母乳、ミルク、混合のどの栄養法で育ちましたか？ 母乳育児（母子の愛着形成・免疫・経済的側面など）について一緒に考えてみましょう。また、乳汁分泌の機序、美味しい母乳（母乳の味、臭い）とは？母乳の飲ませ方、乳房トラブルなどについて学びます。ミルクについても触れます。「可能なら赤ちゃんが飲んでいるミルクを飲んでもらいたい」と考えています。		
	担当	教授 早川 有子 【専門】母性看護学、助産学	形式	講義、グループワーク
N-11 看	講義名	自分のカラダは自分で守る ―健康で明るい未来のために―		
	目的	自らの健康に目を向け、健康で明るく、充実した毎日を送るための知識を得ましょう。		
	概要	食事や睡眠など日常生活習慣に関連する健康問題と、その対策について説明します。		
	担当	教授 小林 亜由美 【専門】公衆衛生看護学	形式	講義
N-12 看	講義名	フィジカルアセスメント生きている証「体の音を聞いてみよう！」		
	目的	1. フィジカルアセスメントの方法について学ぶ。 2. 生命徴候であるバイタルサインを測定する技術について学ぶ。		
	概要	フィジカルアセスメントとは、身体的健康状態を観察・評価することです。フィジカルアセスメントの基本的技術について学び、バイタルサイン測定（体温、脈拍、呼吸、血圧、意識状態など）や聴診器を使用して心音、腸音など体の音を観察し、健康状態を査定します。		
	担当	教授 上星 浩子 【専門】基礎看護学	形式	講義、体験
N-13 看	講義名	乳がんのことをもっと知ろう！		
	目的	1. 乳がんとはどのような病気なのか説明することができる。 2. 乳がんを早期発見するための方法を実施することができる。 3. 乳がん患者の体験を通して看護師の役割を述べることができる。		
	概要	乳がん罹患する女性は年々増加しています。乳がんとはいったいどんな病気なのでしょうののか？乳がん診断された方々はどのような体験をしているのでしょうか？本講義では、みなさんに是非知っておいて欲しい、乳がんの正しい基礎知識、早期発見のコツについて、演習も交えて解説します。また、乳がん診断された方々の体験を通して、看護師の役割とは何かを一緒に考えてみましょう。		
	担当	准教授 萩原 英子 【専門】成人看護学	形式	講義、演習
N-14 看	講義名	妊娠中からの子育て支援 ―あなたが将来、子どもを妊娠したら？―		
	目的	妊娠中からの胎児と母親との絆（きずな）をはぐくむ子育て支援、子ども虐待予防について学びましょう。また、赤ちゃん人形の育児体験を通して、育児の大変さを体験し、親の気持ちについて理解しましょう。		
	概要	1. 子ども虐待の実態と妊娠中からの早期発見・早期ケアについて学びます。 2. 赤ちゃん人形の育児体験を通して、育児の大変さや親の気持ちを理解します。 3. 将来、子どもを妊娠したら？体験を通しての考えをグループ・ディスカッションします。		
	担当	准教授 中島 久美子 【専門】母性看護学、助産学	形式	講義、グループワーク、DVD
N-15 看	講義名	消化について学ぼう		
	目的	1. 消化の機能と生理について理解できる。 2. 消化を促す工夫について理解できる。		
	概要	消化は、私たちが生きていく上で欠かせないプロセスです。消化の仕組みを知り、消化を促すための工夫ができれば、もっと楽しく食事ができます。そして、病気を予防することにもつながります。消化について、看護の視点で学んでみましょう。		
	担当	准教授 堀越 政孝 【専門】成人看護学	形式	講義、演習
N-16 看	講義名	医療職への第一歩 「手洗い」方法、知っていますか？正しい手洗いをやってみよう！		
	目的	感染予防の基本である手指衛生の目的・種類・留意事項を理解し、その方法を習得しましょう。		
	概要	【前半：講義】手指衛生の目的・種類・留意事項を講義にて学びます。 【後半：演習】普段の手洗いの洗浄度を「汚れローション」と「ブラックライト」を用いて検証し、正しい手洗いを体験しましょう。		
	担当	講師 佐藤 晶子 【専門】基礎看護学	形式	講義、体験（対象人数：20人程度） 手洗い場が複数あり、日当たりの良すぎない教室

N-17 看	講義名	高齢者が手術を受けることー何歳まで手術は受けられるのだろうー		
	目的	高齢者が手術を受ける際のリスクについて理解しましょう。		
	概要	高齢者が手術を受ける際に問題となる術後合併症について学び、高齢者が手術を受けることの大変さについて理解しましょう。		
	担当	講師 星野 泰栄 【専門】老年看護学	形式	講義
N-18 看	講義名	月経のはなし ー女性の健康と月経との関連ー		
	目的	1. 月経が女性の健康にどのように影響しているかを理解できる。 2. 女性の一生（ライフサイクル）と月経について理解できる。		
	概要	女性にとって、月経は切っても切れないものです。女性の生涯を通し、月経と女性の健康、ライフサイクル（妊娠や出産など）がどのように関連しているのか、一緒に考えてみましょう。 男性の皆さんも、将来のパートナーのために正しい知識を得てみましょう。		
	担当	講師 臼井 淳美 【専門】母性看護学、助産学	形式	講義
N-19 看	講義名	近代看護の祖 フローレンス・ナイチンゲールを知っていますか？		
	目的	看護理論の源流といわれる看護理論とその背景を学び、看護を理解しましょう。		
	概要	ナイチンゲールの活動と功績について歴史を紐解きながら解説します。 また、ナイチンゲールの著書から、看護とはどのようなものであるかを考察していきます。		
	担当	講師 堀込 由紀 【専門】基礎看護学	形式	講義
N-20 看	講義名	天使になった子どもからのメッセージー奇跡を生きている皆さんへー		
	目的	自分自身の「死生観」に気づき、「命の重み」に向き合ってみましょう。		
	概要	病や事故によって生きることができなかった子ども、その命を支えた家族・教師・友人の実話から、今、「生きている」ことの奇跡、命の重みを共に向き合い考える時間とします。		
	担当	講師 内山 かおる 【専門】小児看護学	形式	講義、演習、グループワーク
N-21 看	講義名	子どもは大人のミニチュアではありませんー大人になるプロセスを考えるー		
	目的	子どもに関心を持ち、かつて自分も子どもだった事を思い起こし、大人になるということはどういうことかを考えましょう。		
	概要	子どもの解剖生理学、心理的特徴から成長発達に必要な条件を講義します。また、子どもの病や事故などの特徴を事例を用いて伝えます。受講者自身が唯一の個として「大人になるとは」について思考できるような講義を目指します。		
	担当	講師 内山 かおる 【専門】小児看護学	形式	講義、演習、グループワーク
N-22 看	講義名	五感を使って感じてみよう！高齢者の疑似体験！		
	目的	世代間の異なる者たちが、自身の五感を使って加齢による身体的・心理的・社会的変化を疑似体験することにより、高齢者の特徴を理解しましょう。		
	概要	高齢者疑似体験の装具（特殊ゴーグル・ヘッドホーン・手足の重り・肘、膝のサポーターなど）を装着して、日常生活動作を擬似的に体験することにより、加齢による身体的な変化（筋力、視力、聴力などの低下）を知り、高齢者の気持ちや介助方法、高齢者とのコミュニケーションの取り方を体験的に学ぶことができます。		
	担当	講師 清水 美和子 【専門】老年看護学、在宅看護学	形式	講義、演習、グループワーク
N-23 看	講義名	「看護」を学ぶ学校で学ぶこと		
	目的	看護系の大学や専門学校で学ぶ内容を基礎看護技術の一つを例に挙げ、参加型授業で学びましょう。		
	概要	基礎看護技術の「体温測定」「脈拍測定」の測定部位と人体の構造と機能と結び付けて、ミニ模擬授業として学びましょう。		
	担当	講師 萩原 一美 【専門】基礎看護学	形式	講義、体験（体温計とストップウォッチ）
N-25 看	講義名	無意識に「こころ」を守る仕組み		
	目的	人には“「こころ」を守るために無意識に働く仕組み”があります。この講義では、その仕組みについて考えてみます。		
	概要	一般的に「偏見」は持つてはいけないもの、取り扱いにくいものとされています。しかし、実は自分の「こころ」を守るために必要なものなのです。講義では「偏見」というキーワードから無意識に「こころ」を守るために働く仕組みを説明していきます。そして、「死」を受け入れざるを得ない状況にある人の「こころのプロセス」と「各段階で無意識に働く仕組み」にまで発展していきます。最後に患者さんにとって必要な「こころのケア」とは「何か」を一緒に考えてみたいと思います。		
	担当	教授 西川 薫 【専門】精神看護学	形式	講義、演習、グループワーク
N-26 看	講義名	思春期の健康課題 ー自身の日常生活を振り返ってみようー		
	目的	思春期にある自身の健康課題について気づき、どのような日常生活を過ごしたらよいか考えてみましょう。		
	概要	思春期に多い心身の状態、生活習慣、疾病傾向、事故等の特徴について紹介します。自身の心身の健康課題に気づき、将来の進路や夢を実現すべく、心身共により充実した日常生活が過ごせるようマンダラード（目標達成シート）をもとに考えてみましょう。		
	担当	教授 中下 富子 【専門】小児看護学	形式	講義、演習

M-6 検	講義名	免疫学入門 ー体を守る免疫のしくみー		
	目的	自己と非自己の細胞をどのように認識しながら、ウイルス感染細胞やガン細胞を攻撃し体を守っているのか、免疫の基本的な仕組みを理解しましょう。		
	概要	免疫学入門として、体を守る免疫の仕組みやAIDSなどの感染症、アレルギー、自己免疫疾患などの病気と発生機序についてイラスト中心に分かりやすく解説します。		
	担当	学科長・教授 藤田 清貴【専門】病態免疫化学検査学	形式	講義
M-7 検	講義名	健康食品って何だろう？		
	目的	健康食品の正しい使い方を解説します。		
	概要	サプリメントとして多くの健康食品が販売され手軽に食品として購入することができます。しかし、食品と言いながら、実際には薬物と同じ成分が微量ですが含まれております。そのため、多量に服用すると身体には害となることがあります。正しい摂取方法を解説したいと思います。		
	担当	教授 亀子 光明【専門】病態生化学	形式	講義
M-8 検	講義名	貧血って何？ ー貧血の予防と健康な身体づくりのためにー		
	目的	貧血の原因や種類を解説し、食事などで予防できる貧血について理解しましょう。		
	概要	血液中に含まれる赤血球は全身に酸素を運ぶ重要な役割をもっています。その役割を担っているのがヘモグロビンで、その濃度が基準値以下に低下した状態を貧血といいます。ヘモグロビンが身体の中でつくられる仕組みや異常値を示す原因を説明し、鉄欠乏性貧血など食事のできる予防法を解説します。		
	担当	教授 小河原 はつ江【専門】病態血液検査学	形式	講義
M-9 検	講義名	白血球とは？身体を守る戦士たちの顔		
	目的	白血球の多彩な役割を考えましょう。		
	概要	末梢血中に存在する白血球は好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球と5種類の細胞に分類されます。白血球を観察する方法や顕微鏡でみるとどのようにみえるのか紹介し、それぞれの役割について説明します。		
	担当	教授 小河原 はつ江【専門】病態血液検査学	形式	講義
M-10 検	講義名	生殖補助医療技術学		
	目的	ヒトは精子や卵子を体内で作ります。その作られた配偶子(精子と卵子)が受精により受精卵となり子宮内で胎芽発育し、やがてヒトとして世に生まれてきます。この生命体の最初である受精を中心に学びましょう。		
	概要	微妙な生理現象の不具合で受精がうまくいかないため不妊になることが少なくありません。これらに関わる治療を生殖補助医療といいます。とりわけ体外受精についての基礎的な知識を整理します。そして不妊症に携わる生殖医療の周辺知識を習得します。		
	担当	講師 荒木 泰行【専門】生殖補助医療技術学	形式	講義
M-11 検	講義名	不妊治療は高校生の教科と無関係でしょうか？何故、不妊症は増え続けているのでしょうか？		
	目的	通常の性教育の内容ではありません。正しい女性の生涯生理学をわかりやすく理解した上で将来設計ができる一助にする知識を得ることが目的です。併せて、男性にとっていかに生殖という事が大切な男女共同で学びましょう。		
	概要	精子、卵子のできる仕組みを理解し受精から受精卵(胚)が発生する流れを学びます。		
	担当	講師 荒木 泰行【専門】生殖補助医療技術学	形式	講義
M-12 検	講義名	感染症の基礎知識と予防法（インフルエンザやノロウイルス感染症など）		
	目的	感染症の知識・技術などを理解しましょう。		
	概要	感染症の基礎知識と予防法に関する講演を行います。		
	担当	教授 木村 博一【専門】微生物学、感染症学、生体防御学	形式	講義
M-13 検	講義名	わかりやすい感染症の原因解析法		
	目的	感染症の原因解析法の知識・技術などを理解しましょう。		
	概要	感染症の原因解析法についてわかりやすく解説します。		
	担当	教授 木村 博一【専門】微生物学、感染症学、生体防御学	形式	講義
M-14 検	講義名	人体を創り出す、遺伝子のメカニズム		
	目的	ヒトの卵子が受精して、どうして人体を創り出すのかを理解しましょう。		
	概要	ヒトの卵子が受精すると分裂を繰り返し、血液や筋肉、神経や骨など異なる細胞になり人体を創り出します。異なる機能を発揮する細胞は、特定の遺伝子のみを発現し他の遺伝子の発現を抑制します。このメカニズムはなにか？を解説します。		
	担当	教授 長田 誠【専門】遺伝子検査学	形式	講義

M-15 検	講義名	遺伝子関連検査って何？		
	目的	遺伝子診断、遺伝子治療、再生医療、個別医療、これら遺伝子が関連する疾患と検査技術について解説します。		
	概要	遺伝子関連検査は、「個人個人の遺伝子が異なり、それは親から受け継がれ、生涯変わらない。」事を利用して実施されています。病気の診断、お薬の副作用や個人識別などの他、感染症の検査にも利用されています。遺伝子関連検査について、詳しく解説します。		
	担当	教授 長田 誠 【専門】遺伝子検査学	形式	講義
M-16 検	講義名	臨床検査からわかる生活習慣病		
	目的	臨床検査と生活習慣病がどのように関わっているのかを紹介します。		
	概要	生活習慣病の診断、経過観察するためには臨床検査が大きな役割を果たしています。生活習慣病の概要や検査の異常値について説明し、より良い生活を維持するため毎日の生活習慣の見直し、自分自身で出来ることを紹介します。		
	担当	教授 古田島 伸雄 【専門】臨床生理学	形式	講義
M-17 検	講義名	なぜ心臓は動き続けるの？ 「しなやかなポンプ～心臓～」		
	目的	心臓の構造や働きと他の臓器との関係性について理解しましょう。		
	概要	心臓は収縮と拡張を繰り返しながら、身体の間々に血液を送り出しているポンプの役目を果たしています。また、心臓はヒトの意識とは関係なく動いていますが、他の臓器と連携して恒常性を保っています。今回は、心臓の自動性と臓器ネットワークについて分かりやすく解説します。		
	担当	教授 古田島 伸雄 【専門】臨床生理学	形式	講義
M-18 検	講義名	免疫薬理学 ー有機化学と免疫制御薬ー		
	目的	高校化学で学ぶ有機化学の知識を踏まえて免疫力を制御する薬の仕組みを学びましょう。		
	概要	解熱剤やステロイド剤などは、人体の免疫システムを制御する薬です。本講義では、薬学に興味をもつ方を対象に免疫制御剤の仕組みを、高校化学にもとづいてわかりやすく説明します。		
	担当	准教授 高橋 克典 【専門】病態免疫化学検査学	形式	講義
M-19 検	講義名	がん細胞の発生とその診断		
	目的	がん細胞の発生要因を理解し、検査の種類とがんの診断までの流れを学びましょう。		
	概要	日本人の死因の第1位は悪性新生物（がん）です。がんのことをより理解するために、がんの発生に関与する細胞周期、がんに関わる医療従事者と検査項目についてわかりやすく解説します。また、がん細胞の定義やその形態学的特徴についても詳しく説明します。		
	担当	講師 岡山 香里 【専門】病理学、病理検査学、細胞診断学	形式	講義
M-20 検	講義名	一滴の血液から病気の目印を探す ーバイオマーカー探索研究の最前線ー		
	目的	病気の早期発見などに役立つ新しいバイオマーカーを開発するために、どのような研究が行われているかについて学びましょう。		
	概要	ごく微量の血液から一度に数千種ものタンパク質を検出できる「質量分析計」を用いて、疾患の早期発見を可能とする、新たなバイオマーカー候補分子の探索が盛んに進められています。これらの研究について、最新の事例を交えながら解説します。		
	担当	講師 木村 鮎子 【専門】病態医化学	形式	講義
M-21 検	講義名	生化学入門		
	目的	生命や病気のしくみを分子レベルで理解する「生化学」について学びましょう。		
	概要	複雑な生命現象や病態のメカニズムを理解する上で、「生化学」は欠かすことのできない学問であり、医療系大学の学生にとっても必修科目となっています。その内容を理解する上では、高校化学の授業で習得する知識が基礎となります。ここでは、大学の「生化学」の授業の内容について、先取りして学びます。		
	担当	講師 木村 鮎子 【専門】病態医化学	形式	講義
M-22 検	講義名	意外と知らない血液型と輸血の話		
	目的	生命や病気のしくみを分子レベルで理解する「生化学」について学びましょう。		
	概要	1. 血液型を決めているのは何か？ 2. ABO以外の血液型って？ 3. 輸血に必要な検査って何だろう？ 4. 輸血で血液型が変わる？ 5. 輸血が必要かを決めるのは医師。輸血できるかを決めるのは「臨床検査技師」って知ってた？		
	担当	講師 林 由里子 【専門】輸血検査学	形式	講義
M-23 検	講義名	P C R検査とは？		
	目的	新型コロナウイルスの検査について理解しましょう。		
	概要	新型コロナウイルスの検査について解説します。話題のPCR検査から抗体検査など…他のウイルスの例も挙げながら説明していきます。		
	担当	教授 木村 博一 【専門】感染症学、微生物学	形式	講義

R-12 放	講義名	ヒューマンエラー温故知新		
	目的	ヒューマンエラーについて学びましょう。		
	概要	1. 医療事故とヒューマンエラーの関係 2. なぜヒューマンエラーは起こるのか 3. なぜヒューマンエラーはなくなるのか。 4. ヒューマンエラー対策はどうのようにすべきなのか。		
	担当	学科長・教授 土屋 仁 【専門】放射線学、医療安全学	形式	講義
R-13 放	講義名	インターネットと健康情報		
	目的	インターネットで流通する健康情報について学びましょう。		
	概要	インターネット（Web、SNS、E-mailなど）で流通する医療情報には、有益な情報もあるが、信頼性の低い偽情報や虚偽の内容が含まれます。特に健康情報は、人々の生活に直接影響を及ぼすため、誤った認識は、重大な影響を及ぼします。医療情報、健康情報に関するインターネットの光と影について説明し、更にインターネット情報を用いた人工知能技術（Ai）の活用について解説します。		
	担当	教授 星野 修平 【専門】放射線情報学、医療画像情報学	形式	講義
R-14 放	講義名	放射線の性質		
	目的	無用な放射線被ばくを防ぐための知識と技術を習得しましょう。		
	概要	放射線の種類と性質、被ばくの影響を理解して、無用な被ばくを避ける方法を考えましょう。物陰に隠れたり逃げたりすることで、放射線量の減り方はどう違うかを実験で確かめます。		
	担当	教授 倉石 政彦 【専門】放射線学、放射線治療技術学	形式	講義、実験
R-15 放	講義名	放射線治療		
	目的	放射線治療と手術や化学療法などによるがん治療法との違いを理解しましょう。		
	概要	先ずはがん治療って何がどうなればいいのか、というところから考えてみましょう。そのうえで、治療に使う放射線の特徴や放射線を照射する方法からメリットを検討します。		
	担当	教授 倉石 政彦 【専門】放射線学、放射線治療技術学	形式	講義
R-16 放	講義名	放射性物質を使った検査って大丈夫なの？		
	目的	病院で行っている放射線検査の一つである放射性物質を使った核医学検査の有用性や安全性を学びましょう。		
	概要	放射性物質は福島原発事故などによって人体に悪影響を及ぼすものと理解している方も多いと思います。しかし、放射性物質は使い方によっては認知症の早期発見やがんの治療に役立っていることを紹介します。この講義を経て有害とされる物質の安全と非安全の違いに対する考え方について学んでいただきます。また、診療放射線技師の仕事を学ぶこともできます。		
	担当	教授 渡邊 浩 【専門】核医学、放射線防護	形式	講義
R-17 放	講義名	音に色を付ける??		
	目的	カラー化する超音波（エコー）画像の原理と意義について解説します。		
	概要	医療で用いられる超音波検査は、血流の速さや血管の形状など、ドップラー効果を応用し、音色（周波数）が変化した差分に応じて色を割り当て、通常は白黒である画像にカラーを重ね合わせたものです。また、肝臓などの臓器やこぶ状の病変部分の硬さを、別に発生する超音波によって硬いものは青、軟らかいものは赤というように色づけることが行われます。これらの手法の原理と診断へ意義について解説したいと思います。		
	担当	教授 管 和雄 【専門】放射線計測学、放射線画像解析学	形式	講義
R-18 放	講義名	世界に誇る日本の医用画像の技術		
	目的	CTなど今や医療の中で欠かすことのできない画像診断機器に焦点を当て、日本の技術力の高さについて理解を深めましょう。		
	概要	X線CT装置を創る国は世界中で多くはありません。CTの設置台数が世界一（対人口当たり）の日本の現状、日本のどこで作られるのか、どんな構造なのかを解説します。		
	担当	准教授 加藤 英樹 【専門】医用画像情報学、放射線技術科学	形式	講義
R-19 放	講義名	もっと知りたいMRI		
	目的	MRIの基礎的な特長から理解を深めましょう。		
	概要	病院の中で様々な医療機器が存在する中、最新の画像診断装置であるMRIの基礎的な話ができればと思います。特に放射線と同じく目に見えない高磁場の安全管理、電波の安全管理について説明します。GE HealthCareからの安全管理スライドをもとに解説します。		
	担当	准教授 小池 正行 【専門】放射線学、診療画像解析学	形式	講義
R-20 放	講義名	病院の中の放射線		
	目的	病院の中で使われている放射線を紹介します。		
	概要	医療現場では様々な場所で放射線が用いられています。現代医療では放射線なくしては成り立たないともいわれています。病院で使われている放射線について解説します。		
	担当	准教授 岩井 譜憲 【専門】放射線治療技術学	形式	講義

R-21 放	講義名	放射線は怖くない		
	目的	放射線の正しい知識を学び、放射線は怖いものではないことを理解しましょう。		
	概要	東日本大震災における福島原発の事故により、放射線は怖いものという先入観が生まれています。震災当時の放射線の状況を交えながら、放射線についてわかりやすく解説し、正しい知識を持てば放射線は怖くないことを解説します。		
	担当	准教授 岩井 譜憲 【専門】放射線治療技術学	形式	講義
R-22 放	講義名	光学活性医薬品とは何か？		
	目的	現代の医薬品種の傾向と開発手法の最先端を解説します。		
	概要	現代の医薬品はその分子構造が複雑化しています。特に光学活性（鏡像）異性体が重要視され、各医薬品メーカーはそれらの製法開発に凌ぎを削っています。ここでは、その開発物語を紹介します。		
	担当	教授 酒井 健一 【専門】化学	形式	講義
R-23 放	講義名	化学を科学する！！		
	目的	医薬品製造法開発における化学とそれを支える科学的なアプローチを紹介します。		
	概要	近代医薬品には立体化学的なアプローチが重要であり、化学的だけでなく科学的な角度から解析しつつ製法を完成していった生の開発ストーリーを紹介します。		
	担当	教授 酒井 健一 【専門】化学	形式	講義
R-24 放	講義名	画像診断装置の過去と未来		
	目的	1895年のレントゲン博士によるX線の発見から今日に至るまで画像診断装置が脚光を浴びています。これまで装置を振り返ること で新しい診断装置の未来が見えてくるでしょう。		
	概要	X線は人工放射線です。X線発生装置の変遷を電気工学の視点から考える今日の画像診断では、放射線を使用しない検査機器もあり ます。 そこで、これからどのような診断装置が市場に投入されるかを一緒に考えましょう。		
	担当	准教授 斎藤 祐樹 【専門】診療画像機器学	形式	講義、体験
C-6 工	講義名	医療用人工材料は血液と仲が悪いか、仲良しか		
	目的	現在の医療現場では、生命維持のため人工材料（人工膜）は必須となりました。そこで重要になるのが人工材料と血液との相互作用（生体適合性）です。人工材料の生体適合性についてお話しします。		
	概要	はじめに血液の性状と働きを理解します（血液はなぜ固まるのか、など）。現在、人工材料と血液の生体適合性は血液凝固（血小板）を中心に論じられ、この点を具体的に分かりやすくお話しします。さらに、将来に向けた人工材料の展望について、夢を踏まえて解説します。		
	担当	学科長・教授 芝本 隆 【専門】生体医工学	形式	講義
C-7 工	講義名	生体（血液）や医療用人工材料の微生物汚染は、どんな手段で調べるのか		
	目的	死菌から放出される物質も生体に対して悪影響を持っています。この放出物質の測定と対策は主に臨床工学の分野で行われています。医療現場における微生物汚染対策の重要性についてお話しします。		
	概要	血液中への死菌放出物質の侵入や人工材料への付着は患者さんの感染症発症につながります。そこで、放出物質による汚染の有無を調べるため「カプトガニ」の血液が使われます。進化のない「カプトガニ」が現代医療の微生物汚染対策に一役買っています。		
	担当	学科長・教授 芝本 隆 【専門】生体医工学	形式	講義
C-8 工	講義名	心臓の音を聞いてみよう		
	目的	実際に聴診器で人（自分）の心音を聞いてみる事により、ダイナミックな臓器である心臓への理解を深めましょう。		
	概要	心音、鼓動の成因を説明し、正常、異常の判断が何故可能なのかを理解しましょう。		
	担当	教授 尾林 徹 【専門】内科学、循環器病学	形式	講義、実技
C-9 工	講義名	水道水と医療用超純水、この差って何？		
	目的	身近な水道水と透析に使用する水を比較して血液浄化療法に興味をもってもらいます。		
	概要	家庭および病院内の水道水中に存在する細菌や家庭用浄水器の構造・使用上の注意点、超純粋透析用水の清浄度などを比較し、水という側面から血液浄化療法を身近に感じてもらいます。		
	担当	准教授 阿部 薫 【専門】血液浄化学	形式	講義
C-10 工	講義名	血液中に過剰な油はいりません		
	目的	高脂血症の生化学的、身体的診断基準、さらにその予後を解説し、運動療法や内服治療および血液浄化療法が用いられていることを紹介し、血液浄化療法への理解を深めましょう。		
	概要	高脂血症は遺伝的要素や生活習慣から発症し、運動療法や内服治療だけでは治療困難な高脂血症の治療が存在します。血漿吸着、二重膜ろ過分離法の原理を分かりやすく解説し、血液浄化療法による高度の高脂血症、高コレステロール血症の治療の実際を解説します。		
	担当	准教授 阿部 薫 【専門】血液浄化学	形式	講義

C-11 	講義名	医工連携で患者さんも医療者もみんながハッピーに！		
	目的	医療現場の想いをカタチにする医工連携プロジェクトを解説します。		
	概要	政府は日本再興戦略としてアベノミクスの3本の矢を立て経済再生を目指し、これらの政策がこの数年の医療機器開発ブームの引き金になっています。現場からの声を吸い上げ、様々なものづくりの現場でその専門性を活かした臨床工学技士による医療機器開発とその有用性について解説します。		
	担当	准教授 吉岡 淳 【専門】医用機器安全工学、医用治療機器学	形式	講義
C-12 	講義名	血液をキレイにする医療技術		
	目的	医学と工学の発展により、様々な疾患の治療を可能にした技術を知りましょう。		
	概要	血液を浄化する治療法に焦点をあて、血液浄化とは何か、血液浄化が必要な疾患や治療原理、最新の治療技術について解説します。		
	担当	講師 近土 真由美 【専門】生体機能代行技術学	形式	講義
C-13 	講義名	命をつなぐ人工呼吸器		
	目的	人工呼吸器のしくみ、目的と役割を知りましょう。		
	概要	人工呼吸器が必要となる状況や疾患、人工呼吸器の目的・役割について解説します。		
	担当	講師 近土 真由美 【専門】生体機能代行技術学	形式	講義
C-14 	講義名	体からの信号は光に変えられる		
	目的	生体の光に対する特性について理解を深めましょう。		
	概要	光を用いた生体情報の測定には、パルスオキシメータ（動脈血酸素飽和度測定）、カプノメータ（呼気炭酸ガス分圧測定）、光トポグラフィ（脳機能測定）などがあります。それぞれの測定原理と生体の光に対する特性について解説します。		
	担当	講師 小野 哲治 【専門】医用生体工学	形式	講義
C-15 	講義名	医療情報管理、漏れては大変！		
	目的	医療情報システムの安全管理（セキュリティ）について理解を深めましょう。		
	概要	医療機関において、電子カルテをはじめIT導入が積極的に進められています。しかし、アクセス管理を確実に行わないと情報が外部に漏れてしまう危険性がある。特にインターネットが普及した今日、個人情報の守秘が重要な医療機関では大きな課題となっています。そこで、医療情報とセキュリティについて解説します。		
	担当	講師 小野 哲治 【専門】医用生体工学	形式	講義
C-16 	講義名	感電って怖い！静電気は大嫌い！		
	目的	感電（電気ショック、電撃）について理解を深めましょう。		
	概要	病院では、様々な医療機器が電気で動いています。この電気によって生体が何かしらの影響や障害を受けてしまうことを感電といいます。そこで、電気に対する生体反応と感電防止対策について解説します。		
	担当	講師 小野 哲治 【専門】医用生体工学	形式	講義
C-17 	講義名	はたらき続ける心臓の動きを止められるの？		
	目的	心臓の動きを止め、再び動かすことを可能にした心筋保護法を解説します。		
	概要	はじめに、心臓の働きについて理解していただきます。約半世紀前より研究し続けてきた心臓外科領域の理想は、自在に心臓の動きを停止、再拍動させることができ、大きな細胞障害も残らない仕組みの確立でした。心筋細胞収縮の仕組みである、細胞の活動電位の成り立ちを応用することにとり着いた経緯について解説します。		
	担当	講師 草間 良昌 【専門】体外循環装置学	形式	講義
C-18 	講義名	新型コロナウイルス重篤患者への“最後の切り札”「ECMO」とは？		
	目的	新型コロナウイルスの治療でも使用される「ECMO」や「人工呼吸器」をはじめ、臨床工学技士が扱う生命維持に欠かせない医療機器について理解しましょう。		
	概要	新型コロナウイルスの治療でも使用される「ECMO」や「人工呼吸器」をはじめ、臨床工学技士が扱う生命維持に欠かせない医療機器について解説します。		
	担当	学科長・教授 芝本 隆 【専門】生体医工学	形式	講義

P-5 理	講義名	発達の不しぎーリハビリテーションのたねあかしー		
	目的	発達でおきる事実を知り、発達の持つすばらしい力を理解しましょう。 また、リハビリテーションで使われている発達の力も知しましょう。		
	概要	すべての皆さんにおきてきた発達の事実をまず振り返ります。みなさんは物心がつく前に、何もできない状態から発達して歩くことや走ることができるようになりました。みなさんはその時の感激を覚えていません。発達は、誰にも教わったこともないのにできてしまうという「すごいこと」なのですが、まったくそのことを覚えていないというふしぎな現象です。ふしぎさには何か仕組みがあるはずです。その仕組みはリハビリテーションのたねあかしになるのですが、いくつかの体験実習を交えて考えていきます。		
	担当	学科長・教授 中 徹 【専門】発達障がい科学	形式	講義、実技
P-6 理	講義名	いやな肩こりを何とかしよう		
	目的	誰もが経験する肩こりを通して正しい姿勢の重要性を知りましょう。		
	概要	肩こりをおこす原因、そのメカニズムを簡単に解説し、その予防法および自分でできるストレッチ体操を紹介します。		
	担当	教授 鈴木 学 【専門】神経系理学療法、評価治療学	形式	講義、実技
P-7 理	講義名	自分で触ってわかる、骨と筋肉		
	目的	自分で触診して、自分の骨と筋肉を鑑別しましょう。		
	概要	自分の体を自分で触る事により、筋、骨、靱帯、腱、血管などがわかることを理解してもらいます。		
	担当	准教授 目黒 力 【専門】生活環境学	形式	講義（動きやすい服装）
P-8 理	講義名	まちで暮らすためのリハビリテーション		
	目的	学校やまちなどからバリアフリーを考えてみましょう。		
	概要	大学の講義で行っている「まちめぐり」の資料から、まちにあるバリアや改善対策、理学療法士がどのように関わるのかを考えましょう。		
	担当	准教授 目黒 力 【専門】生活環境学	形式	講義、実技
P-9 理	講義名	脳卒中の基礎知識		
	目的	リハビリテーションの重要な対象疾患である脳卒中についての理解を深めましょう。		
	概要	脳卒中の病態、症状、画像診断、治療などの基本的な知識を説明します。		
	担当	准教授 宗宮 真 【専門】リハビリテーション医学	形式	講義
P-10 理	講義名	足は口ほどにものを言う		
	目的	姿勢と運動における足の役割を理解しましょう。		
	概要	人の足は、からだを支える土台となり姿勢や運動を調節するはたらきを持っています。この身体全体の動きや関節のしくみや運動を学ぶ「運動学」の内容から、特に姿勢と足の働きについて分かりやすく概説します。 スポーツで怪我をした経験のある方は、ご自分の身体の特徴や動きに興味を持っていらっしゃると思いますので、関連づけてお話しします。		
	担当	准教授 浅田 春美 【専門】リハビリテーション医学	形式	講義
P-11 理	講義名	日常生活に便利な住環境（住宅改修）		
	目的	障がいを持っても暮らせる住宅の工夫を知りましょう。		
	概要	理学療法士の仕事の1つに、在宅で生活する高齢者や障がいを持つ方へ「住宅改修のアドバイス」があります。手すり1本から1部屋すべてまで、その方とご家族が住み慣れた家で暮らしやすいように専門職が力を合わせて作り上げていく過程をご紹介します。 転ばぬ先の杖ならぬ、転ばぬ先の手すりの必要性をお話しします。		
	担当	准教授 浅田 春美 【専門】リハビリテーション医学	形式	講義
P-12 理	講義名	痛みの原因とリハビリテーション		
	目的	痛みを抱えている理学療法の対象者は複数存在しています。その痛みを軽減したり、痛みとの付き合い方についてリハビリテーションの視点から理解しましょう。		
	概要	痛みがあることで理学療法の実践が遅れることはしばしばあります。また普段の生活において、腰痛や肩こりなどの痛みを感じることで生活を部分的に制限してしまう方々も大勢います。痛みの知覚についてわかりやすく説明し、その痛みを解決する方法について理学療法分野のみならず、より広い視点をもって講義します。		
	担当	准教授 岡崎 大資 【専門】物理療法学	形式	講義、演習
P-13 理	講義名	スポーツ傷害と理学療法		
	目的	スポーツ傷害という分野から理学療法の定義を理解しましょう。		
	概要	スポーツ傷害と理学療法の関わり、ストレッチング、モビライゼーション、PNF、テーピングの実技を予定しています。		
	担当	講師 城下 貴司 【専門】スポーツ科学	形式	講義、演習

P-14 理	講義名	まわりと自分を知るための手がかり　－感覚情報について－		
	目的	外界の状況および自身の状況を知るために用いられる感覚情報について理解しましょう。		
	概要	自分の身体が今どういう状況にあるのか、また周囲の環境と自分との関係を知るために用いられる感覚情報について、その生理学的知識を簡単な遊びを交えて説明します。自分の身体の仕組みの不思議さや面白さについて知り、興味をもつきっかけづくりを目指します。		
	担当	講師 黒川 望 【専門】神経生理学	形式	講義
P-15 理	講義名	目で見えない筋肉の働き方を見える化する		
	目的	人の体の動きを作る筋肉の働き方、その意味を理解しましょう。		
	概要	様々な動きは、筋肉の働き（筋活動）によって作られます。目では見えない筋肉の活動を見える化する表面筋電図を使って、その性質を探索実技形式の講義を行います。同じスポーツでも、初心者とオリンピック選手ではどのように違うのか？運動がぎこちない、運動に障害を抱えた人達の筋肉の動き方は何が違うのか？を理解するために、様々な動きを行なった時の筋活動を測定して、考えていきましょう。		
	担当	講師 橋口 優 【専門】神経生理学	形式	講義、演習
P-16 理	講義名	ヒトはどこまで動物か		
	目的	動物としてのヒトの特徴を考えます。特にヒト以外の霊長類とヒトの類似点と相違点や、ヒトの進化史に注目して比較しながら考えます。		
	概要	ヒトはまるで他の動物とは一線を画す生き物のように振る舞っています。しかし、本当にヒトは特別なのでしょうか。類人猿やサルなどのヒトの親類との比較などから、動物としてのヒトの特徴を考えます。そうすると、ヒトは決して特別な生き物ではなく、他の生物と同じ進化原理にしたがって生じた動物であることがわかってきます。その点から改めてヒトのことを考えてみると興味深いと思います。		
	担当	講師 後藤 遼佑 【専門】生物人類学	形式	講義
P-17 理	講義名	私らしい生き方、私の進路を考える　－作業療法学の応用－		
	目的	作業療法の理論を使って、自分らしい生き方、自分らしい生活、そして自分の進路を考えてみます。		
	概要	自分らしい生き方とは何でしょうか。多くの人は自分らしく生きる大切さを知っています。けれど、自分らしいということを説明するのは、なかなか難しいものです。私たちが自分の生き方を考えるとき、この先の進路を考えるとき、とても重要です。自分らしさを考えてみませんか。		
	担当	教授 村田 和香 【専門】作業療法学、老年期作業療法学	形式	講義、体験
P-18 理	講義名	なぜ人は遊ぶの？		
	目的	なぜ人は遊ばずにはいられないのでしょうか？自身が本当に楽しめる遊びは何ですか？を作業療法の考え方を使って学びます。		
	概要	子どもから大人まで、人は人生を通して遊び続けます。いくつになっても遊びには夢中になれます。遊ぶことの大切さや、自分が本当に楽しめる遊びを知ると、毎日はより一層楽しくなると思います。		
	担当	講師 宮寺 寛子 【専門】地域作業療法学	形式	演習、体験